令和5年度

九州大学
大学院理学研究院
大学院理学府
理学部　概要

KYUSHU UNIVERSITY

Faculty of Science ／ Graduate School of Science ／ School of Science

物理学・化学・地球惑星科学・数学・生物学

九州大学
KYUSHU UNIVERSITY

九州大学

大学院理学研究院 *Faculty of Science*
大学院理学府 *Graduate School of Science*
理学部 *School of Science*

概要

目次
CONTENTS

02 歴代部局長・運営組織図
03 役職員（執行部・部門長等）
04～07 沿革
08 研究院・学府・学部の関係・制度
09 各組織の細部構造
10 教職員配置表
11 大学院学生数・入学状況・就職状況
12 学部学生数・入学状況・就職状況
13 その他の学生数等
14 国際交流関係
15 予算、科学研究費助成事業、
各省・独立行政法人等が実施する研究プログラム等
16 社会連携事業
17 建物
18～19 配置図
20 連絡先・HPアドレス等

歴代理学部長

在任期間	氏名	
昭和 14. 4. 1～ 昭和 15.10.11	荒川　文六	（事務取扱）
昭和 15.10.11～ 昭和 21. 5.20	西　久光	
昭和 21. 5.20～ 昭和 23. 7.15	松浦　新之助	
昭和 23. 7.15～ 昭和 25. 7.15	妻木　徳一	
昭和 25. 7.15～ 昭和 27. 7.16	伊藤　徳之助	
昭和 27. 7.16～ 昭和 29. 7.15	松浦　新之助	
昭和 29. 7.16～ 昭和 31. 7.15	岡崎　篤義	
昭和 31. 7.16～ 昭和 33. 7.15	妻木　徳一	
昭和 33. 7.16～ 昭和 34.11.12	岡崎　篤義	
昭和 34.11.12～ 昭和 35. 1.16	妻木　徳一	（事務取扱）
昭和 35. 1.16～ 昭和 37. 7.15	吉村　恂	
昭和 37. 7.16～ 昭和 39. 7.15	吉村　豊文	
昭和 39. 7.16～ 昭和 41. 7.15	桑原　万寿太郎	
昭和 41. 7.16～ 昭和 43. 7.15	水野　善右エ門	
昭和 43. 7.16～ 昭和 44. 8. 5	北川　敏男	
昭和 44. 8. 5～ 昭和 45. 4. 1	桑原　万寿太郎	（事務取扱）
昭和 45. 4. 1～ 昭和 45. 7.15	松浦　良平	（事務取扱）
昭和 45. 7.16～ 昭和 47. 7.15	松浦　良平	
昭和 47. 7.16～ 昭和 49. 7.15	沢田　龍吉	
昭和 49. 7.16～ 昭和 49. 9. 8	松浦　良平	（事務取扱）
昭和 49. 9. 9～ 昭和 51. 7.15	松浦　良平	
昭和 51. 7.16～ 昭和 53. 7.15	神田　慶也	
昭和 53. 7.16～ 昭和 55. 7.15	松浦　良平	
昭和 55. 7.16～ 昭和 57. 7.15	高橋　良平	
昭和 57. 7.16～ 昭和 59. 7.15	大橋　茂	
昭和 59. 7.16～ 昭和 61. 7.15	森田　弘道	
昭和 61. 7.16～ 昭和 63. 7.15	森　肇	
昭和 63. 7.16～ 平成 2. 7.15	松田　博嗣	
平成 2. 7.16～ 平成 4. 7.15	高島　良正	
平成 4. 7.16～ 平成 6. 7.15	岡崎　篤	
平成 6. 7.16～ 平成 8. 7.15	稲津　孝彦	
平成 8. 7.16～ 平成 10. 7.15	高田　健次郎	
平成 10. 7.16～ 平成 12. 7.15	大川　尚士	
平成 12. 7.16～ 平成 14. 7.15	伊藤　明夫	
平成 14. 7.16～ 平成 18. 7.15	小田垣　孝	
平成 18. 7.16～ 平成 22. 7.15	宮原　三郎	
平成 22. 7.16～ 平成 26. 7.15	荒殿　誠	
平成 26. 7.16～ 平成 30. 3.31	中田　正夫	
平成 30. 4. 1～ 令和 4. 3.31	和田　裕文	
令和 4. 4. 1～	寺嵜　亨	

歴代大学院理学研究科長

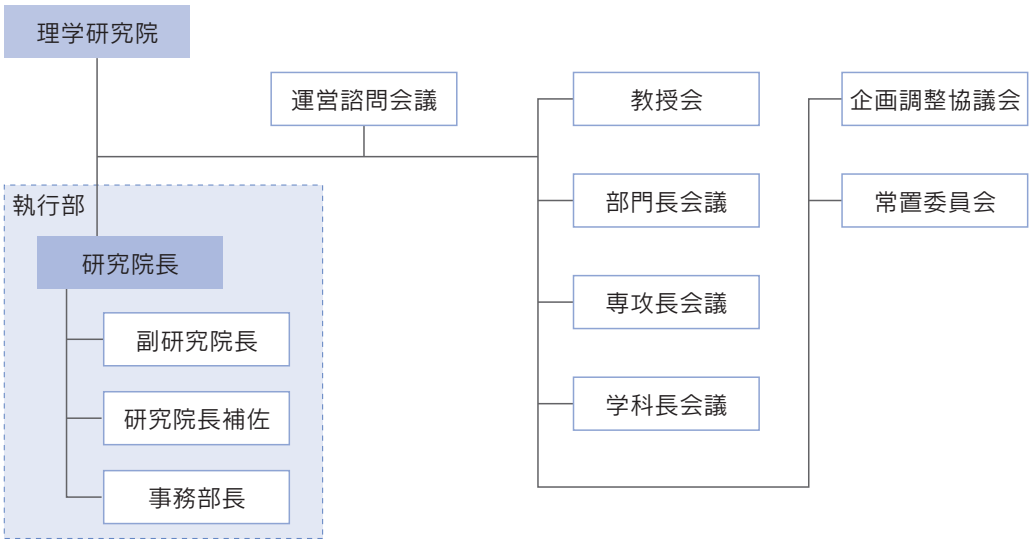
在任期間	氏名
平成 11. 4. 1～ 平成 12. 3.31	大川　尚士

※大学院重点化後の研究科長

歴代大学院理学研究院長・理学府長

在任期間	氏名
平成 12. 4. 1～ 平成 12. 7.15	大川　尚士
平成 12. 7.16～ 平成 14. 7.15	伊藤　明夫
平成 14. 7.16～ 平成 18. 7.15	小田垣　孝
平成 18. 7.16～ 平成 22. 7.15	宮原　三郎
平成 22. 7.16～ 平成 26. 7.15	荒殿　誠
平成 26. 7.16～ 平成 30. 3.31	中田　正夫
平成 30. 4. 1～ 令和 4. 3.31	和田　裕文
令和 4. 4. 1～	寺嵜　亨

運営組織図（平成16年4月～）



役職員

令和5年4月1日現在

	役職	氏名
執行部	理学研究院長、理学府長、理学部長	寺嵜　亨
	副研究院長（理学研究院長代理・教務・大学院教育担当）	中野　晴之
	副研究院長（研究・財務担当）	川村　隆一
	副研究院長（総務（評価）・施設担当）	齋藤　大介
	研究院長補佐（基幹教育・総務（中期目標・中期計画）担当）	木村　崇
	研究院長補佐（学部教育・総務（安全衛生等）担当）	鈴木　博
	研究院長補佐（国際交流・社会貢献担当）	吉川　顕正
	事務部長	松尾　純
評議員		寺嵜　亨
専攻長	物理学専攻	緒方　一介
	化学専攻	大場　正昭
	地球惑星科学専攻	奈良岡　浩
部門長	物理学部門	緒方　一介
	化学部門	大場　正昭
	地球惑星科学部門	奈良岡　浩
	生物科学部門	高橋　達郎
学科長	物理学科	緒方　一介
	化学科	大場　正昭
	地球惑星科学科	奈良岡　浩
	数学科	小林　真一
	生物学科	高橋　達郎
	情報理学コース	森　周司
附属施設長等	研究院附属地震火山観測研究センター	松本　聡
	学部附属天草臨海実験所	立田　晴記

S 沿革

ー設置改廃を中心としてー

1930

1939 昭和14年 4月
九州帝国大学に理学部が設置された。
数学2講座
「代数学及び位相数学」「幾何学」
物理学4講座
「理論物理学」「実験物理学」
「力学及び熱力学に関する応用物理学」
「光学及び電気学に関する応用物理学」
化学3講座
「無機化学」「有機化学」「構造化学」
地質学2講座
「層序学」「岩石学」の各講座が設置された。
理学部に物理学科、化学科、地質学科が開設された。

1940

1940 昭和15年 4月
物理学5講座「原子物理学」
化学4講座「物理化学」
地質学3講座「鉱物学」
数学3講座「解析学」に増設された。

1941 昭和16年 4月
物理学6講座「地球物理学及び気象学」
化学5講座「分析化学」
地質学4講座「古生物学」に増設された。

1942 昭和17年 4月
理学部に数学科が開設された。

1943 昭和18年 7月
数学4講座
「応用解析学」に増設された。

11月
数学5講座「統計数学」に増設された。

1944 昭和19年 12月
化学6講座「生物化学」に増設された。

1947 昭和22年 10月
帝国大学令の一部が改正され、帝国大学が国立総合大学と改められ、九州帝国大学理学部は九州大学理学部となった。

1949 昭和24年 1月
地質学5講座「石炭地質学」に増設された。

4月
理学部に生物学科が開設された。
生物学2講座「動物生理学」「細胞遺伝学」が設置された。

5月
国立学校設置法が公布され、学校教育法による国立の大学として新たに九州大学が設置され、学部は理学部と定められた。

1950

1950 昭和25年 4月
生物学4講座
「発生生物学」「植物生理学」に増設された。

1951 昭和26年 4月
生物学5講座「生態学」に増設された。

1953 昭和28年 3月
物理学科の理論物理学は「量子力学」に、
実験物理学は「応用物理学」に、
力学及び熱力学に関する応用物理学は「統計力学」に、
光学及び電気学に関する応用物理学は「光学及び電磁気学」にそれぞれ改称された。

4月
九州大学に大学院理学研究科が設置された。

8月
国立学校設置法の一部が改正され、理学部に臨海実験所が設置され、名称を九州大学理学部附属天草臨海実験所と定められた。

1959 昭和34年 4月
物理学7講座「物性論」に増設された。

1960

1961 昭和36年 4月
理学部に極低温実験室が設置された。

1962 昭和37年 4月
数学6講座「計画数学」に増設された。

1963 昭和38年 4月
数学7講座「計算数学」に増設された。

1964 昭和39年 4月
物理学科の量子力学は「素粒子理論」に、
原子物理学は「原子核反応学」に、
統計力学は「物性理論」に、
物性論は「半導体物理学」に、
光学及び電磁気学は「低温物理学」にそれぞれ改称された。

1965 昭和40年 4月
物理学9講座
「原子核分光学」「大気物理学」
地質学6講座
「非金属鉱床地質学」に増設された。

1966 昭和41年 4月
物理学10講座「磁性体物理学」に増設された。

1967 昭和42年 4月
物理学11講座「原子核理論」
化学9講座
「有機反応化学」「放射化学」「量子化学」に増設された。

6月
国立学校設置法施行規則の一部を改正する省令が公布されて理学部附属基礎情報学研究施設が設置され、基礎情報学第一部門「情報理論」が開設された。

1968 昭和43年 4月
化学11講座
「高分子化学」「錯塩化学」
生物学7講座
「分子遺伝学」「生体物理化学」に増設された。

1969 昭和44年 4月
化学13講座
「酵素化学」「物性化学」
生物学9講座
「生体高分子学」「代謝生理学」に増設された。

1970

1970 昭和45年 4月
生物学10講座「数理生物学」に増設された。

1971 昭和46年 4月
国立学校設置法施行規則の一部を改正する省令が公布され、理学部附属島原火山観測所が設置された。

1972 昭和47年 4月
理学部附属基礎情報学研究施設に基礎情報学第二部門「情報方式」が増設された。

1974 昭和49年 4月
数学科、代数学及び位相数学、応用解析学の2講座は、拡充改組により「代数学」、「関数解析学」の2講座となり教官定員がそれぞれ振り替えられた。

1975 昭和50年 4月
数学8講座「位相数学」に増設（拡充改組）された。

1976 昭和51年 4月
数学9講座「数理解析学」に増設された。

1977 昭和52年 4月
理学部附属基礎情報学研究施設に基礎情報学第三部門「情報実験」が増設された。

1980

1980 昭和55年 4月
物理学12講座「地震学」に増設された。

1981 昭和56年 4月
物理学13講座「高層大気力学」に増設された。

1984 昭和59年 4月
理学部附属島原火山観測所は理学部附属島原地震火山観測所と名称が変更された。

1990

1990 平成2年 4月
地質学科は地球惑星科学科と名称が変更された。

1992 平成4年 4月
物理学科（9講座）、地球惑星科学科（12講座）に改組された。

1993 平成5年 4月
化学科（12講座）となる。
（有機化学基礎研究センター設置に伴うもの）

1994 平成6年 4月
九州大学教養部が廃止されたこと及び大学院数理学研究科が設置されたことに伴い、物理学科に量子物理学（大講座）、情報物理学（大講座）、環境物質科学の3講座が、化学科に分子動態化学（大講座）、分子設計化学（大講座）の2講座が、数学科に数学の学科目が、生物学科に細胞機能学（大講座）、生態科学（大講座）の2講座が増設された。なお、生物学科の生態学講座は比較社会文化研究科に振り替えられ、数学科の代数学、幾何学、解析学、関数解析学、位相数学、統計数学、計画数学、計算数学、数理解析学の各講座は数理学研究科に振り替えられた。

■学科の講座数変遷一覧

年月＼学科	物理	化学	地惑	数学	生物	計	備考
昭和13.4							学部創設
14.4	4	3	2	2		11	物理、化学、地質の3学科新設
15.4	5	4	3	3		15	
16.4	6	5	4	3		18	
17.4							数学科の新設
18.7	6	5	4	4		19	
18.11	6	5	4	5		20	
19.12	6	6	4	5		21	
24.4	6	6	5	5	2	24	生物学科の新設
25.4	6	6	5	5	4	26	
26.4	6	6	5	5	5	27	
34.4	7	6	5	5	5	28	
36.4							数学科拡充改組
37.4	7	6	5	6	5	29	
38.4	7	6	5	7	5	30	
39.4							物理学科拡充改組
40.4	9	6	6	7	5	33	
41.4	10	6	6	7	5	34	化学科拡充改組
42.4	11	9	6	7	5	38	生物学科拡充改組
43.4	11	11	6	7	7	42	
44.4	11	13	6	7	9	46	
45.4	11	13	6	7	10	47	
49.4							数学科拡充改組
50.4	11	13	6	8	10	48	
51.5	11	13	6	9	10	49	
55.4	12	13	6	9	10	50	
56.4	13	13	6	9	10	51	
平成 4.4	9	13	12	9	10	53	
5.4	9	12	12	9	10	52	
6.6	12	14	12		11	49	

S 沿革

ー設置改廃を中心としてー

1996 平成8年 5月

理学部附属基礎情報学研究施設が廃止・転換された。(大学院システム情報科学研究科の設置に伴うもの)

1998 平成10年 4月

大学院理学研究科の重点化(2-1)により教育研究組織を大学院に移行した。

物理学専攻、化学専攻の2専攻を、3専攻に改組整備された。

■基礎粒子系科学専攻:
粒子宇宙論、粒子物理学、多体系基礎論の3大講座

■分子科学専攻:
有機化学系、物理化学系、生物化学系の3大講座と物質変換化学の1協力講座

■凝縮系科学専攻:
凝縮系基礎論、複雑系科学、量子物性科学、集合系無機化学、集合系分子化学、集合系物理化学の6大講座と物理有機化学の1協力講座

理学部の物理学科に「物理学」、「情報理学」のコースを設け2大学科目、化学科に「化学」の1大学科目が設置された。

1999 平成11年 4月

大学院理学研究科の重点化(2-2)により教育研究組織を大学院に移行した。

理学研究科の地球惑星科学専攻、生物学専攻の2専攻が、再編成された。

■地球惑星科学専攻:
生物圏進化学、太陽惑星系科学、流体圏科学、物質循環科学、固体地球惑星物理学の5大講座と地震学・火山学の1講座

■生物科学専攻:
動態生物学、情報生物学、分子集団遺伝学、生体物理化学、生体高分子学の5大講座と海洋生物学の1講座

理学部の地球惑星学科に「地球惑星科学」の1大学科目、生物学科に「生物学」の1大学科目が設置された。

数学科に「数学」の1大学科目が設置された。

理学部附属の天草臨海実験所及び、島原地震火山観測所が理学研究科附属に転換された。

2000

2000 平成12年 4月

全学大学院重点化の完了とともに、「研究院」制度を導入し、大学院の教育研究組織である「研究科」を再編し、大学院の教育組織である「学府」と教官の所属する研究組織である「研究院」が設置された。

「大学院理学府」に5専攻24講座2協力講座を置く

■基礎粒子系科学専攻:
粒子宇宙論、粒子物理学、多体系基礎論の3大講座

■分子科学専攻:
有機化学系、物理化学系、生物化学系の3大講座と物質変換化学の1協力講座

■凝縮系科学専攻:
凝縮系基礎論、複雑系科学、量子物性科学、集合系無機化学、集合系分子化学、集合系物理化学の6大講座と物理有機化学の1協力講座

■地球惑星科学専攻:
生物圏進化学、太陽惑星系科学、流体圏科学、物質循環科学、固体地球惑星物理学の5大講座と地震学・火山学講座

■生物科学専攻:
動態生物学、情報生物学、分子集団遺伝学、生体物理化学、生体高分子学の5大講座と海洋生物学講座

理学研究科附属天草臨海実験所が理学府附属臨海実験所に転換された。

「大学院理学研究院」に4部門22講座を置く

■物理学部門:
粒子宇宙論、粒子物理学、多体系基礎論、凝縮系基礎論、複雑系科学、量子物性科学の6大講座

■化学部門:
無機化学系、分子集合系、集合物性系、有機化学系、分子構造系、生物化学系の6大講座

■地球惑星科学部門:
生物圏進化学、太陽惑星系科学、流体圏科学、物質循環理学、固体地球惑星物理学、地震学・火山学の6大講座

■生物科学部門：
動態生物学、情報生物学、統合生物学、海洋生物学の4大講座

理学研究科附属島原地震火山観測所が理学研究院附属地震火山観測研究センターに拡充改組された。

「理学部」は、平成11年度と同様5学科6学科目を置く

2003 平成15年 4月
「大学院理学府」が次のとおり改組された。
■地球惑星科学専攻：
固体地球惑星科学、太陽惑星系物質科学、流体圏・宇宙圏科学の3大講座、地震学・火山学講座と地球惑星博物学の1協力講座
■生物科学専攻：
動態生物学、情報生物学、統合生物学の3大講座と海洋生物学講座（大学院システム生命科学府の設置に伴うもの）

「大学院理学研究院」が次のとおり改組された。
■地球惑星科学部門：
固体地球惑星科学、太陽惑星系物質科学、流体圏・宇宙圏科学の3大講座、地震学・火山学講座

2004 平成16年 4月
国立大学法人九州大学となった。
「大学院理学府」が次のとおり改組された。
■凝縮系科学専攻：
物理有機化学講座（協力）を担当する先導物質化学研究所物質化学部門の「理論・計算化学」分野の教員の工学府への移籍に伴い、兼担を縮減

2008 平成20年 4月
「大学院理学府」が次のとおり改組された。
基礎粒子系科学専攻、分子科学専攻、凝縮系科学専攻の3専攻が改編され、物理学専攻と化学専攻となり、生物科学専攻はシステム生命科学府に移行した。
3専攻10講座2協力講座を置く
■物理学専攻：
粒子宇宙物理学、凝縮系物理学、多体系物理学、新領域物理学の4大講座
■化学専攻：
無機・分析化学、物理化学、有機・生物化学の3大講座、先導物質化学の協力講座
■地球惑星科学専攻：
固体地球惑星科学、太陽惑星系物質科学、流体圏・宇宙圏科学の3大講座、地球惑星博物学の協力講座

「大学院理学研究院」が次のとおり改組された。
■物理学部門：
基礎粒子系物理学、物性物理学の2大講座
■化学部門：
無機・分析化学、物理化学、有機・生物化学、複合領域化学の4大講座

理学府附属臨海実験所が理学部附属天草臨海実験所に改組された。

2011 平成23年 4月
「大学院理学府」が次のとおり改組された。
■物理学専攻：
粒子宇宙論、粒子物理学、物性基礎論、量子物性、複雑物性の5大講座

■専攻の講座数変遷一覧

年月＼専攻	基礎粒子系	分子科学	凝縮系科学	地球惑星科学	生物科学	計	備考
平成10.4	3	3(1)	6(1)	12	12	36(2)	大学院重点化（2－1）
11.4	3	3(1)	6(1)	6	6	24(2)	大学院重点化（2－2）
12.4	3	3(1)	6(1)	6	6	24(2)	学府・研究院制度導入
15.4	3	3(1)	6(1)	4(1)	4	20(3)	地球惑星科学専攻、生物科学専攻改組
16.4	3	3(1)	6(1)	4(1)	4	20(3)	国立大学法人化

※（　）は他部局からの協力講座で外数

■専攻の講座数変遷一覧

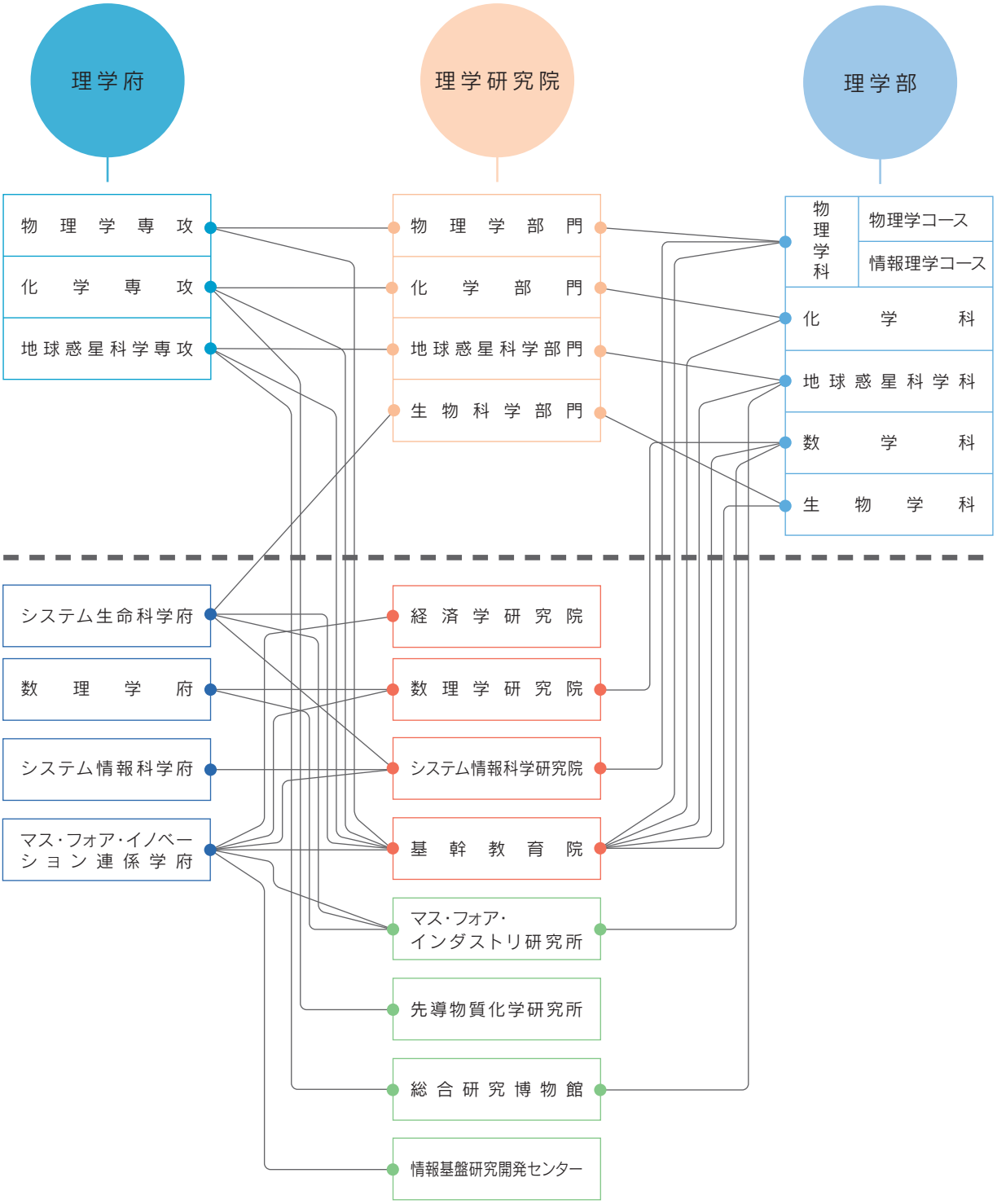
年月＼専攻	物理学	化学	地球惑星科学	計	備考
平成20.4	4	3(1)	3(1)	10(2)	学府の改組
平成23.4	5	3(1)	3(1)	11(2)	物理学専攻改組

※（　）は他部局からの協力講座で外数

■部門の講座数変遷一覧

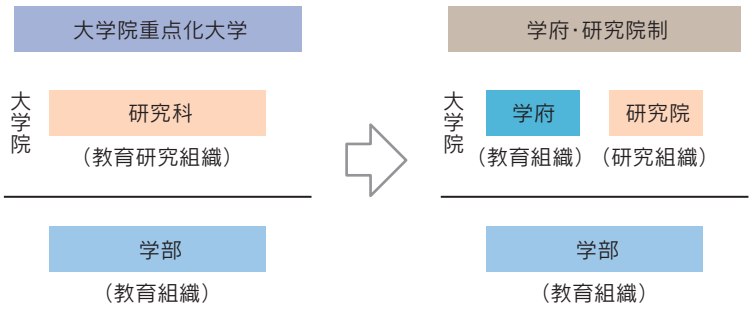
年月＼部門	物理学	化学	地球惑星科学	生物科学	計	備考
平成12.4	6	6	6	4	22	学府・研究院制度導入
15.4	6	6	4	4	20	地球惑星科学部門改組
16.4	6	6	4	4	20	国立大学法人化
20.4	2	4	4	4	14	物理学部門、化学部門改組

研究院・学府・学部の関係



学府・研究院制度

九州大学では、平成12年4月の「全学大学院重点化」の完了と共に、**「学府・研究院制度」**を設けた。これに伴い、平成12年度に大学院理学研究科を、大学院の教育研究組織としての**「理学府」**と教員の所属する研究組織である**「理学研究院」**に分離し、相互に柔軟な連携のできる体制とした。



各組織の細部構造

大学院理学府（理学府長）

専攻 3	講座 11(2)
物理学専攻	粒子宇宙論 粒子物理学 物性基礎論 量子物性 複雑物性
化学専攻	無機・分析化学 物理化学 有機・生物化学 先導物質化学（協力）
地球惑星科学専攻	固体地球惑星科学 太陽惑星系物質科学 流体圏・宇宙圏科学 地球惑星博物学（協力）

※（　）は他部局からの協力講座で外数

大学院理学研究院（理学研究院長）

部門 4	講座 14
物理学部門	基礎粒子系物理学 物性物理学
化学部門	無機・分析化学 物理化学 有機・生物化学 複合領域化学
地球惑星科学部門	固体地球惑星科学 太陽惑星系物質科学 流体圏・宇宙圏科学 地震学・火山学
生物科学部門	動態生物学 情報生物学 統合生物学 海洋生物学

附属施設　地震火山観測研究センター（島原）

理学部（理学部長）

学科 5	学科目 6
物理学科	物理学 情報理学
化学科	化学
地球惑星科学科	地球惑星科学
数学科	数学
生物学科	生物学

附属施設　天草臨海実験所（天草）

事務組織

事務部長
- 総務課長
  - 総務係（部門事務室等含む）
  - 人事係
  - 数理・IMI係
  - 研究支援係
- 財務課長
  - 経理係
  - 用度係
  - 理学系保全係（施設部）
- 教務課長
  - 教務係
  - 学生支援係
  - 国際化支援事務室

理学研究院 研究教育技術支援部

研究院長
- 研究支援体制検討専門委員会
- 技術支援部運営企画委員会（副研究院長）
- 研究教育技術支援部長
- 技術支援部技術専門部会
- 技術長
  - 基盤研究教育技術室長
    - 機器解析担当
    - 機器開発担当
    - 情報基盤担当
  - 応用技術サービス室長
    - 元素分析担当
    - 低温科学担当
  - 附属施設技術室長
    - 天草臨海実験所担当
    - 地震火山観測研究センター担当

S 教職員配置表

令和5年5月1日現在

区分		教員					事務職員・技術職員			合計
		教授	准教授	講師	助教	計	事務職員	技術職員	計	
物理学部門	現員	{1} 12	12	1	13	{1} 38				{1} 38
化学部門	現員	12	13	2	14	41				41
地球惑星科学部門	現員	10	14		11	35				35
生物科学部門	現員	9	5	5	12	31				31
研究院附属地震火山観測研究センター	現員	{1} 1	1			{1} 2		1	1	{1} 3
学部附属天草臨海実験所	現員		1		1	2		1	1	3
物理学科	現員							1	1	1
化学科	現員							1	1	1
地球惑星科学科	現員							1	1	1
極低温実験室	現員						1	2	3	3
中央元素分析所	現員							3	3	3
附属工場	現員							3	3	3
情報基盤室	現員							1	1	1
事務部	現員						45		45	45
計	現員	{2} 44	46	8	51	{2} 149	46	14	60	{2} 209

（備考）現員欄の{ }は客員で外数

大学院学生

■ 定員・在籍者数

令和5年5月1日現在

区分		修士課程 1年次	修士課程 2年次	博士後期課程 1年次	博士後期課程 2年次	博士後期課程 3年次	計
物理学専攻	定員	41	41	14	14	14	124
	在籍者数	44	48	7	13	6	118
化学専攻	定員	62	62	19	19	19	181
	在籍者数	61	80	9	10	16	176
地球惑星科学専攻	定員	41	41	14	14	14	124
	在籍者数	45	42	10	5	9	111
計	定員	144	144	47	47	47	429
	在籍者数	150	170	26	28	31	405

■ 学位授与者数

令和5年4月1日現在

■ 理学修士 6,545名

■ 理学博士

旧制学位	新制学位 課程博士	新制学位 論文博士	合計
208名	1,431名	730名	2,369名

	課程博士	論文博士	計
令和2年度	19	1	20
令和3年度	25	1	26
令和4年度	28	0	28

入学状況（春期入学）

■ 専攻

令和5年4月1日現在

区分		入学定員	志願者	合格者	FR学生	分子システムデバイス学生	入学者	本学出身者	他大学出身者
修士課程	物理学専攻	41	61	47	—	—	40	32	8
	化学専攻	62	68	62	—	—	58	46	12
	地球惑星科学専攻	41	52	47	—	—	44	37	7
	計	144	181	156	—	—	142	115	27
博士課程	物理学専攻	14	8	8	6	—	7	7	0
	化学専攻	19	7	7	6	—	7	6	1
	地球惑星科学専攻	14	9	8	6	—	8	6	2
	計	47	24	23	18	—	22	19	3

■ 選抜方法（春期入学者）

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度
修士課程	一般選抜	153	151	141
	社会人特別選抜（化学）	0	0	0
	飛び級（化学）	0	0	0
	外国人特別選抜	0	3	1
博士後期課程	一般選抜	18	25	19
	社会人特別選抜（4月入学）	1	0	0
	外国人特別選抜	0	1	3

※飛び級（化学）は「学部3年次在籍学生を対象とする特別選抜（化学）」の略、社会人特別選抜とともに平成6年度から実施

大学院（修士課程）修了者産業別就職状況

令和4年度修了者

項目 / 学府	修了者数	大学院（博士後期課程）進学者数	就職希望者数	就職決定者数	1 農業・林業	2 漁業	3 鉱業・採石業・砂利採取業	4 建設業	製造業 5 食料品・飲料・たばこ・飼料製造業	6 繊維工業	7 印刷・同関連業	8 化学工業・石油・石炭製品製造業	9 鉄鋼業・非鉄金属・金属製品製造業	10 はん用・生産用・業務用機械器具製造業	11 電子部品・デバイス・電子回路製造業	12 電気・情報通信機械器具製造業	13 輸送用機械器具製造業	14 その他の製造業	15 電気・ガス・熱供給・水道業	16 情報通信業	17 運輸業・郵便業	卸売業・小売業 18 卸売業	19 小売業	20 金融業	21 保険業	不動産業・物品賃貸業 22 不動産取引・賃貸・管理業	23 物品賃貸業	学術研究・専門・技術サービス業 24 学術・開発研究機関	25 法務	26 その他の専門・技術サービス業	27 宿泊業・飲食サービス業	28 生活関連サービス業・娯楽業	教育・学習支援業 29 学校教育	30 その他の学校教育・学習支援業	医療・福祉 31 医療業・保健衛生	32 社会保健・社会福祉・介護事業	33 複合サービス事業	サービス業 34 宗教	35 その他のサービス	公務 36 国家公務員	37 地方公務員	38 その他
理学府	144	23	119	118	0	0	2	2	1	1	0	17	2	7	11	6	3	5	6	20	2	1	1	1	0	0	0	5	0	5	0	1	2	2	0	0	0	0	2	9	2	2

注）専門職学位課程を含む

教育職員免許状申請件数（学府）

令和4年度

免許状	免許状の種類		件数
中学校	専修	理科	8
高等学校	専修	理科	13

学部学生

■ 定員・在籍者数

令和５年５月１日現在

区分		1年次	2年次	3年次	4年次	計
物理学科	定員	55(2)	55(2)	55(2)	55(2)	220
	在籍者数	57	58	62	90	267
化学科	定員	62(2)	62(2)	62(2)	62(2)	248
	在籍者数	63	64	66	80	273
地球惑星科学科	定員	45(2)	45(2)	45(2)	45(2)	180
	在籍者数	48	48	49	57	202
数学科	定員	50(2)	50(2)	50(2)[5]	50(2)[5]	200[10]
	在籍者数	56	55	58	71	240
生物学科	定員	46(2)	46(2)	46(2)	46(2)	184
	在籍者数	49	48	47	55	199
計	定員	258(10)	258(10)	258(10)[5]	258(10)[5]	1,032(40)[10]
	在籍者数	273	273	282	353	1,181

( )は、国際理学コースの募集人員で内数
[ ]は、3年次編入学定員で外数

■ 卒業者数

令和５年４月１日現在

区分	旧制	新制（前年度まで）	令和4年度	累計（新制）	累計
物理学科	194	3,547	58	3,605	3,799
化学科	198	3,928	54	3,982	4,180
地質学科	89	381	-	381	470
地球惑星科学科	-	1,422	49	1,471	1,471
数学科	117	3,177	52	3,229	3,346
生物学科	9	2,735	49	2,784	2,793
計	607	15,190	262	15,452	16,059

（備考）平成２年度に地質学科は地球惑星科学科に名称変更

入学状況

■ 学科

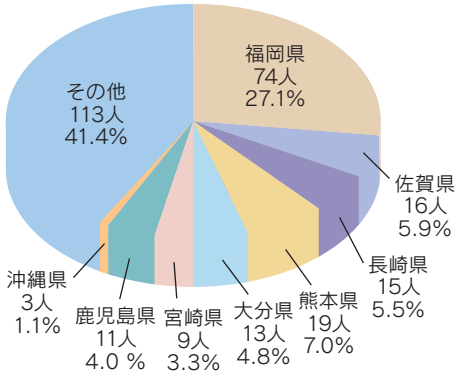
令和５年４月１日現在

区分	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者
物理学科	55	875	678	59	57
化学科	62			68	63
地球惑星科学科	45			50	48
数学科	50			56	56
生物学科	46			51	49
計	258	875	678	284	273

■ 入学者選抜方法 ＜令和５年度＞

一般入試（前期日程）※国際理学コース入試含む
一般入試（後期日程）
帰国生徒選抜
外国人留学生入試（4月入学）
総合型選抜Ⅱ

入学者の地域別人数（九州各県とその他）＜令和５年度＞



学部3年次編入学者数

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
物理学科	2	3	3
数学科［５］	4	4	5
計	6	7	8

学部卒業者産業別就職状況

令和４年度卒業者

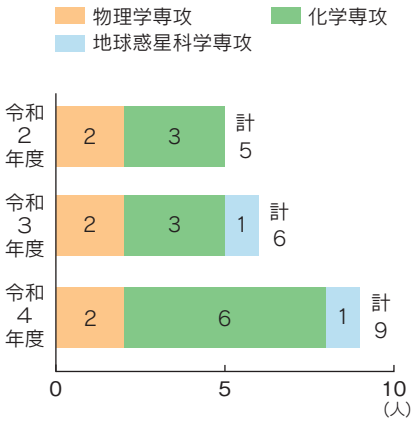
学部＼項目	卒業者数	大学院（修士・博士前期課程）進学者数	就職希望者数	就職決定者数	1 農業・林業	2 漁業	3 鉱業・採石業・砂利採取業	4 建設業	製造業 5 食料品・飲料・たばこ・飼料製造業	6 繊維工業	7 印刷・同関連業	8 化学工業・石油・石炭製品製造業	9 鉄鋼業・非鉄金属・金属製品製造業	10 はん用・生産用・業務用機械器具製造業	11 電子部品・デバイス・電子回路製造業	12 電気・情報通信機械器具製造業	13 輸送用機械器具製造業	14 その他の製造業	15 電気・ガス・熱供給・水道業	16 情報通信業	17 運輸業・郵便業	卸売業・小売業 18 卸売業	19 小売業	20 金融業	21 保険業	22 不動産業・物品賃貸業 不動産取引・賃貸・管理業	23 物品賃貸業	24 学術研究・専門・技術サービス業 学術・開発研究機関	25 法務	26 その他の専門・技術サービス業	27 宿泊業・飲食サービス業	28 生活関連サービス業・娯楽業	29 教育・学習支援業 学校教育	30 その他の学校教育・学習支援業	31 医療・福祉 医療業・保健衛生	32 社会保健・社会福祉・介護事業	33 複合サービス事業	34 サービス業 宗教	35 その他のサービス	36 公務 国家公務員	37 地方公務員	38 その他
理学部	262	193	63	57					2		1	1			3	1	2	1		15		2		2	1					4			5	2			1		5	4	2	3
物理学科	58	45	10	10							1				2	1				3																			2			1
化学科	54	47	7	7					1			1						1		2										2												
地球惑星科学科	49	37	12	10					1								1			1		1																1	4	1	
数学科	52	25	26	23											1					8				2	1					1			5	2			1		2			
生物学科	49	39	8	7													1			1		1								1											1	2

教育職員免許状申請件数（学部）

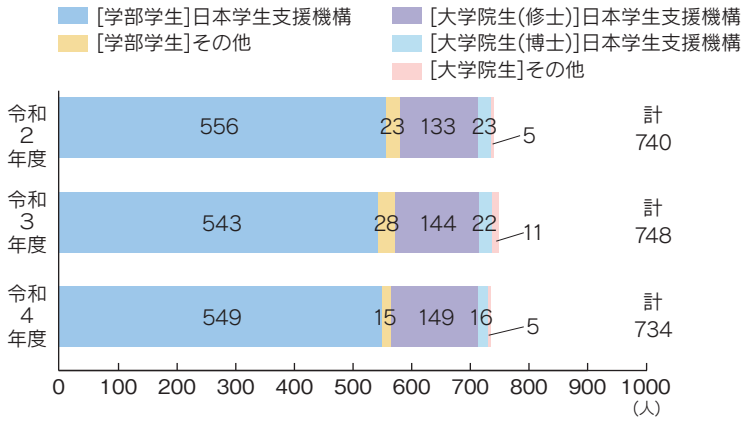
令和４年度

免許状	免許状の種類		件数
中学校	一種	理科	12
		数学	5
高等学校	一種	理科	15
		数学	16
		情報	1

研究生数

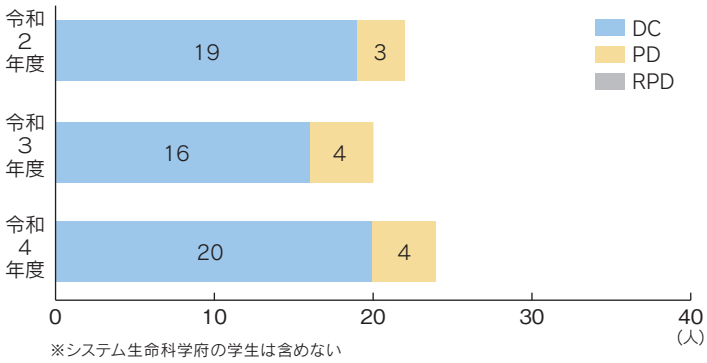


奨学生数



日本学術振興会特別研究員

各年度4月1日現在

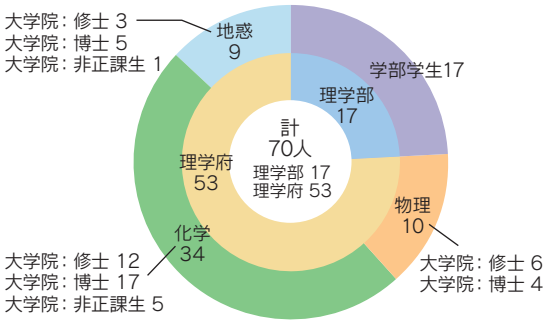


※システム生命科学府の学生は含めない

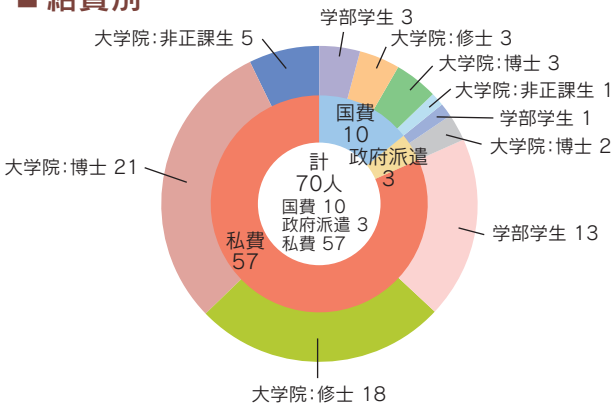
外国人留学生

令和5年5月1日現在
※非正課生（研究生、特別聴講学生、特別研究学生）を含む

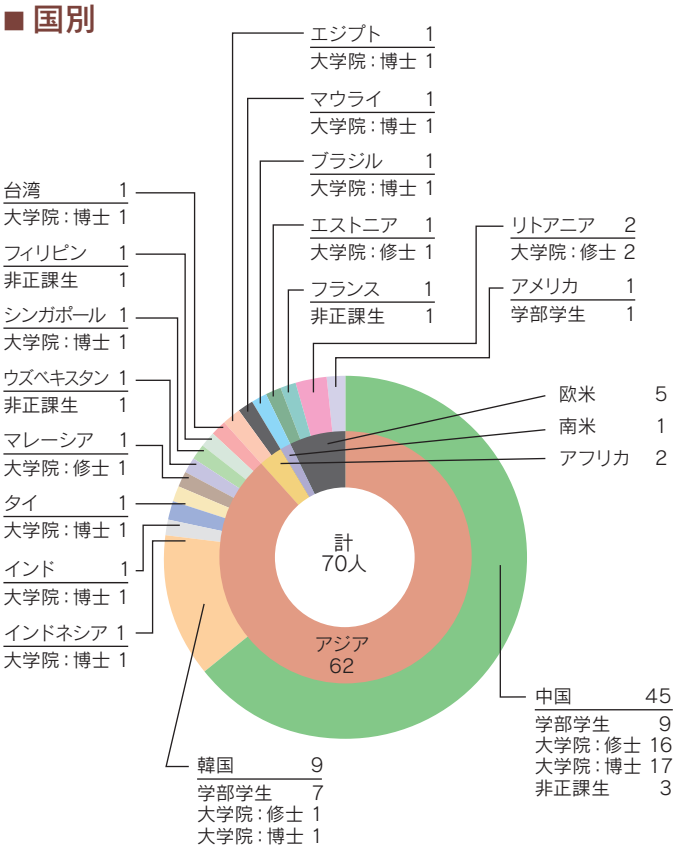
■ 課程別



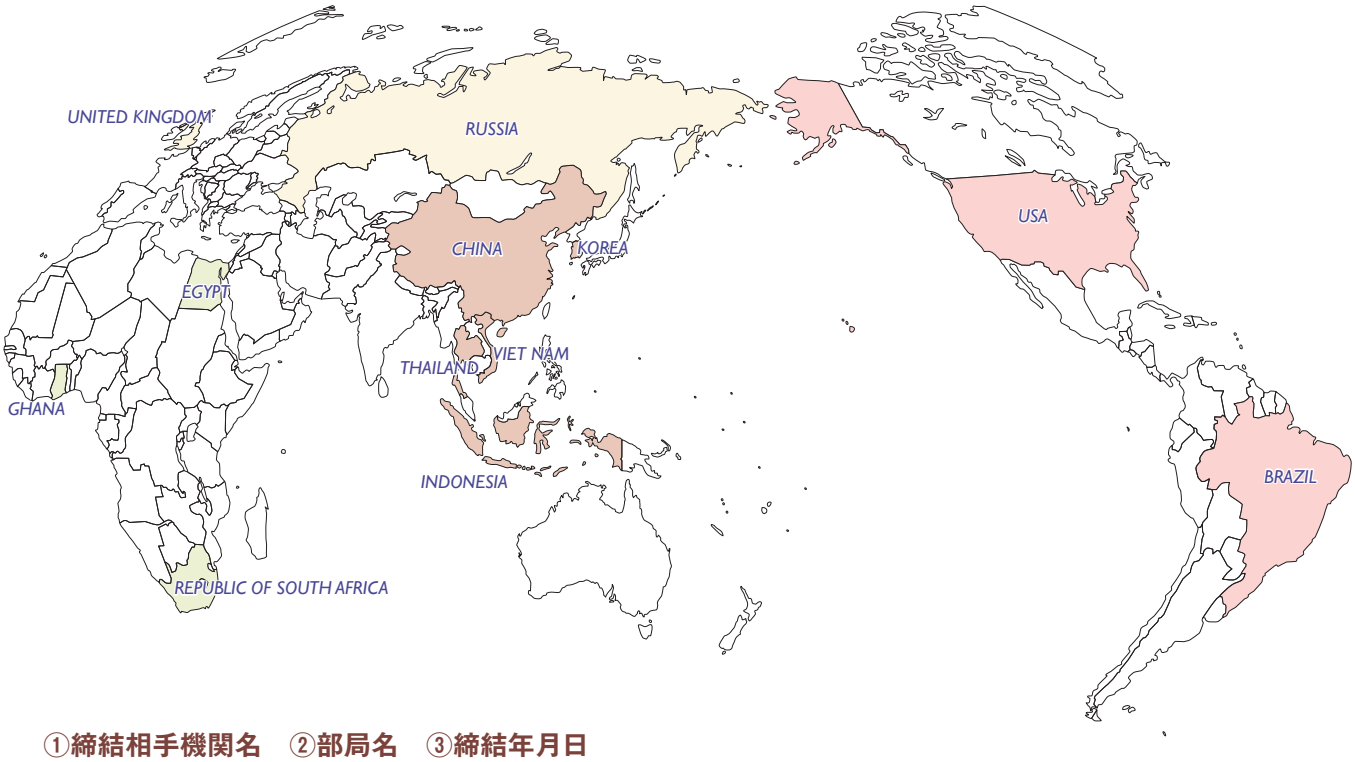
■ 給費別



■ 国別



S 国際交流協定締結一覧〔12ヵ国・地域、16機関〕



①締結相手機関名　②部局名　③締結年月日

Asia

インドネシア　2

①ガジャマダ大学大学院工学研究科
（ダブル・ディグリー・プログラム実施協定）
②理　③2017.3.31　2022.3.31更新

①サムラトランギ大学水産海洋科学学部
②理、シス生　③2023.3.1

韓国　1

①蔚山科学技術大学校、機械・航空・原子力工学部、理学部
②理、工、総理工　③2019.3.25

タイ　1

①スラナリー工科大学理学部、工学部
②理、工、総理工、応研、先導研
③2010.2.19　2020.2.19更新

中国　1

①大連理工大学　②理、工、シ情、総理工
③2012.12.26　2022.12.26更新

ベトナム　2

①ダラット大学生物学部
②理、シス生　③2018.12.1

①ビズップ・ヌイバ国立公園
②理、シス生　③2018.12.1

Africa

ガーナ　1

①ガーナ大学理学部
②理　③2015.11.3　2020.11.3更新

南アフリカ　1

①ヨハネスブルグ大学理学部
②理　③2018.10.2

エジプト　1

①メノフィーヤ大学理学部
②理　③2012.3.18　2022.4.1更新

Europe

イギリス　1

①ケンブリッジ大学材料科学科
②理、工、シ情、総理工
③2014.2.4　2020.2.4更新

Americas

アメリカ　1

①オレゴン州立大学理学部、農学部
②理　③2017.2.17　2022.2.9更新

ブラジル　1

①ミーナスジュライシス連邦大学地球科学部
②理　③2016.2.26　2021.2.26更新

参考）理学部等関連施設

ロシア　2

①ロシア科学アカデミーシベリア支部ヤクート科学センター Yu.G.シャファー宇宙物理・超高層大気物理学研究所
②国際宇宙　③1999.4.6　2019.4.17改定

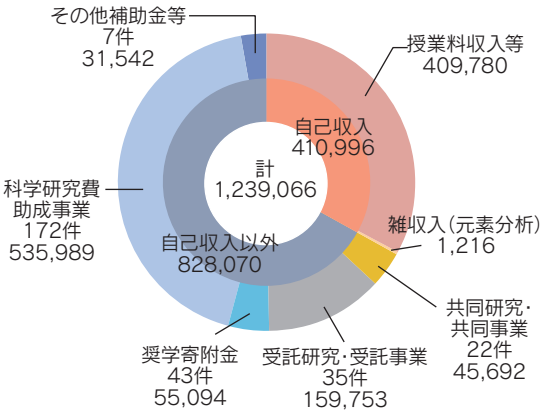
①ロシア科学アカデミー極東支部宇宙物理学・電波伝播研究所
②国際宇宙　③2019.3.27

エジプト　1

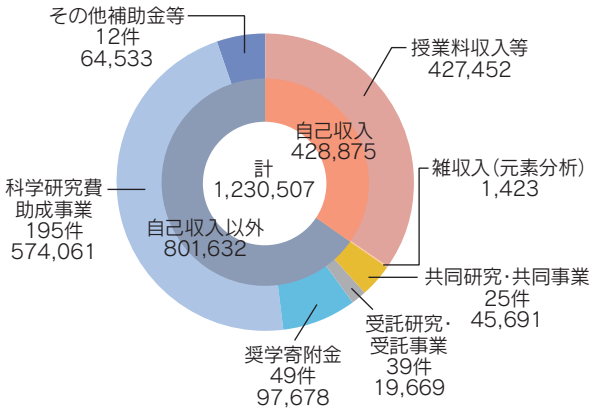
①エジプト天文地球物理学研究所
②国際宇宙　③2019.4.1

予算 ※科学研究費助成事業は継続の直接経費を含む

令和3年度 （千円）



令和4年度 （千円）



科学研究費助成事業

研究種目	令和2年度			令和3年度			令和4年度		
	申請（件）	採択（件）	金額（千円）	申請（件）	採択（件）	金額（千円）	申請（件）	採択（件）	金額（千円）
特別推進研究	0	0	0	1	0	0	1	0	0
特別研究促進費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新学術領域研究	25	5	12,600	15	1	2,000	8	3	9,500
学術変革領域研究（A）	9	0	0	20	1	3,600	19	2	28,100
学術変革領域研究（B）	16	0	0	9	1	10,500	3	0	0
基盤研究（S）	1	0	0	7	1	63,700	5	1	40,600
基盤研究（A）	8	5	55,900	9	2	24,100	6	1	18,000
基盤研究（B）	28	10	57,200	28	10	50,300	22	7	33,700
基盤研究（C）	29	9	13,700	39	15	19,500	32	10	12,800
挑戦的研究（開拓）	4	0	0	3	0	0	3	1	12,500
挑戦的研究（萌芽）	33	4	9,300	30	6	14,300	27	5	11,600
若手研究	4	3	5,000	16	10	13,500	5	5	9,400
研究活動スタート支援	4	4	4,400	2	1	1,200	2	2	2,200
研究成果公開促進費	0	0	0	1	0	0	0	0	0
特別研究員奨励費（特別研究員）	0	0	0	0	0	0	0	1	1,200
特別研究員奨励費（外国人特別研究員）	0	0	0	2	2	1,300	1	1	1,200
国際共同研究加速基金	4	0	0	2	0	0	3	1	1,500
合計	165	40	158,100	184	50	204,000	137	40	182,300

※申請件数は本学から申請した課題のみ計上。採択件数、金額は当該年度新規採択課題（直接経費）のみ計上（年度途中の転入/転出課題含む）
※教員のみ（高等研究院所属含む）

各省・独立行政法人等が実施する研究プログラム等

（件数）

省・独立行政法人等の名称	プログラム等名称	令和2年度分	令和3年度分	令和4年度分
文部科学省	科学技術基礎調査等委託事業	1		
	研究開発施設共用等促進費補助金（ライフサイエンス研究の振興（ナショナルバイオリソースプロジェクト））		1	2
経済産業省（中国経済産業局）	成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech事業）			1
独立行政法人日本学術振興会	二国間交流事業（共同研究・セミナー）	1	1	
	国際共同研究事業	2	2	2
	学術研究動向調査研究等	1	1	1
	研究拠点形成事業			2
国立研究開発法人科学技術振興機構	戦略的創造研究推進事業（CREST）	9	5	2
	戦略的創造研究推進事業（さきがけ）	1	1	1
	戦略的創造研究推進事業（ERATO）	1	1	1
	未来社会創造事業	4	2	3
	創発的研究支援事業		1	2
	戦略的国際共同研究プログラム（SICORP）		1	
	国際科学技術協力基盤整備事業（日本－台湾研究交流）			1
	ムーンショット型研究開発事業			1
国立研究開発法人日本医療研究開発機構	革新的先端研究開発支援事業	2	2	2
	B型肝炎創薬実用化等研究事業	1		
	感染症実用化研究事業　肝炎等克服実用化研究事業　肝炎等克服緊急対策研究事業	1		
	新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業	1		
	新興・再興感染症研究基盤創生事業	1		
	ナショナルバイオリソースプロジェクト補助事業	1		
	創薬基盤推進研究事業		1	1
国立研究開発法人森林研究・整備機構	農林水産研究推進事業	1	1	1
国立研究開発法人情報通信研究機構	データ利活用等のデジタル化の推進による社会課題・地域課題解決のための実証型研究開発			1
独立行政法人国際協力機構	東ティモール国立大学工学部能力向上プロジェクトフェーズ2に係る事務支援業務	1	1	1

※継続課題を含む　※再委託事業を除く

S 社会連携事業（令和4年度）

1 自然科学啓発事業
4件

学科名	事業テーマ
化　学	公開講演会「最新化学談話シリーズ」 「理学部化学科後期特別談話会」
数　学	公開講座「現代数学入門」
生　物　学	九州大学理学部生物学科公開講座

2 先端科学普及事業
5校

学科名	出張講義等先
物　理	福岡県立宗像高等学校
化　学	福岡県立城南高等学校
地球惑星科学	福岡県立明善高等学校
数　学	西南学院高等学校
生　物　学	熊本県立済々黌高等学校

3 高校教育支援特別事業
2校

学科名	受入高校
地球惑星科学	福岡県立明善高等学校
生　物　学	滋賀県立膳所高等学校

4 先端科学体験事業
6件

学科名	事業テーマ
物　理	体験物理学
化　学	Quriesプログラム 「金ナノ粒子への硫黄化合物の吸着と香りの変化」
地球惑星科学	Quriesプログラム 「磁場から見るオーロラ爆発現象」
	Quriesプログラム 「トンガ火山噴火のシグナルを探す」
生　物　学	高校生向け講義 「生態系を遺伝子から予測する数理生物学」
	Quriesプログラム 「環境を守るミクロの生物たち～自然界の微生物を利用した環境浄化」

5 中等教育担当教員研修事業

学科名	事業テーマ
物　理　学	中等教育理科教員のための リカレント教育
化　学	
生　物　学	
数　学	九州･山口地区　大学･高校数学科入試連絡会

6 エクセレント･スチューデント･イン･サイエンス育成プロジェクト（ESSP ver.2）

参加学科名	参加高校生		
化　学	9名 （化学4名、 生物5名）	福岡県	5名
生　物　学		佐賀県	2名
		大分県	1名
		鹿児島県	1名

S 建物

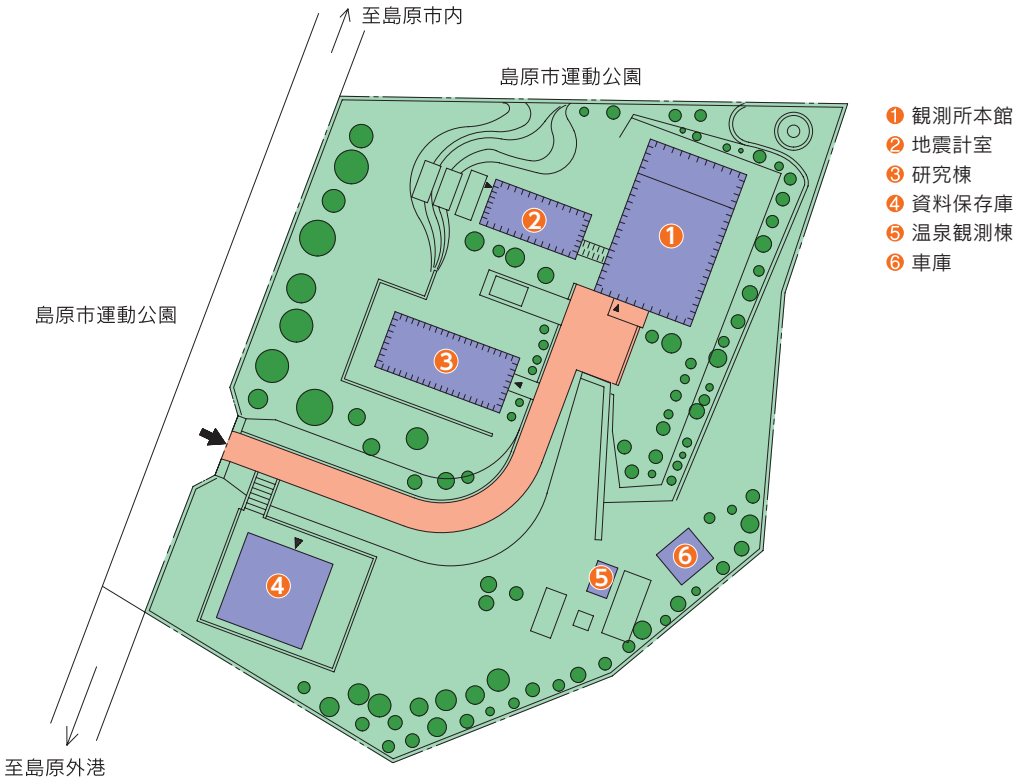
令和5年5月1日現在

名称	取得年数	構造	面積 建(㎡)	面積 延(㎡)	所在	備考
ウエスト1号館	H.27	SRC10	7,278	52,579	福岡市西区元岡744番地	物理、化学、地惑、数学、生物、事務
講義棟・生活支援施設	H.27	RC3	1,109	1,918		
低温センター	H.19、26	S1、RC1	631	655		学内共同利用（極低温実験室含む）
国際宇宙惑星環境研究センター	H.26	RC2	237	449		学内共同利用
アイソトープ統合安全管理センター伊都地区実験室	H.26	RC5-1	863	3,436		学内共同利用
加速器・ビーム応用科学センター	H.20、26	RC1、RC2	2,754	2,856		学内共同利用
計			12,872	61,893		
地形変動観測所	S.8、28	RC1	34	34	福岡市中央区西公園	
計			34	34		
地震火山観測研究センター 地震計室	S.42	B1	84	84	島原市新山2丁目	
研究棟	S.47	RC1	144	144		
本館	S.56	RC1	334	316		
温泉観測棟	S.49	B1	13	13		
資料保存庫	H.13	S2	159	318		
その他	H.20	S1	32	32		車庫
計			766	907		
天草臨海実験所 研究棟	S.48、54 S.59	RC2	572	1,026	熊本県天草郡苓北町	（倉庫含む）
学生宿舎	S.48	RC2	293	479		
職員宿舎	H.8	RC2	170	316		
標本室	H.22	S1	52	52		
ウィンチ小屋	S.59	W1	20	20		
地震観測棟	S.59	B1	4	4		
その他	S.13、59	RC1、W1 B1	152	152		ポンプ室、受水槽室、倉庫、車庫、コンプレッサー室
計			1,263	2,049		
合計			14,935	64,883		

S 配置図

伊都地区

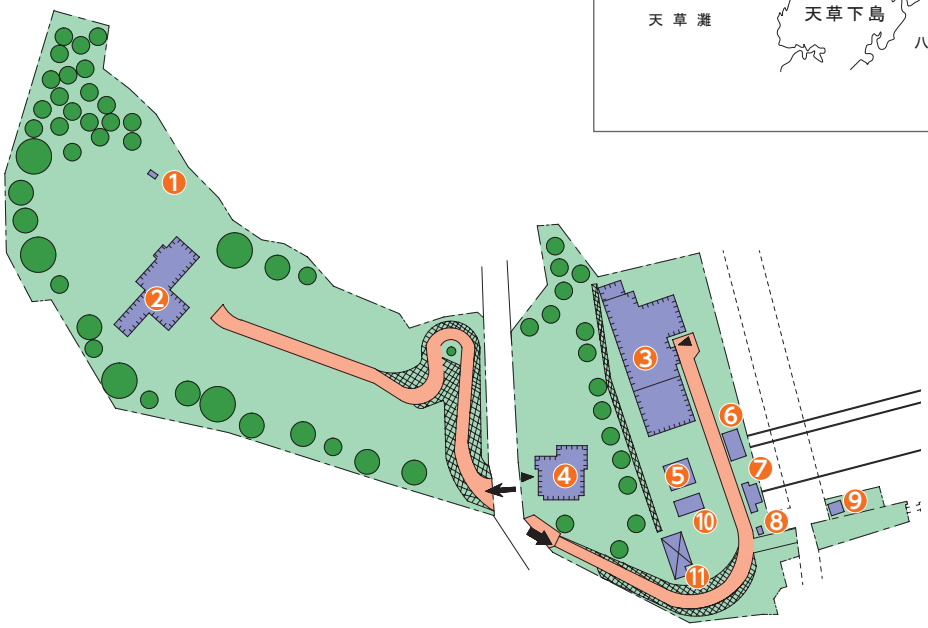
理学研究院附属
地震火山観測研究センター（島原）



❶ 加速器・ビーム応用科学センター
❷ 低温センター
❸ アイソトープ統合安全管理センター
❹ 国際宇宙惑星環境研究センター
❺ ウエスト1号館（理学系研究棟）
❻ 講義棟・生活支援施設
❼ 椎木講堂

案内図

理学部附属 天草臨海実験所・職員宿舎・短期学生寄宿舎（天草）



❶ 地震観測棟
❷ 学生宿舎
❸ 研究棟
❹ 職員宿舎
❺ 標本室
❻ ポンプ室・受水棟室
❼ 倉庫
❽ コンプレッサー室
❾ ウィンチ小屋
❿ 車庫
⓫ 倉庫

大学院理学研究院・大学院理学府・理学部

〒819-0395
福岡市西区元岡744
TEL:092-802-4003　FAX:092-802-4005

地震火山観測研究センター

〒855-0843
長崎県島原市新山2-5643-29
TEL:0957-62-6621　FAX:0957-63-0225

天草臨海実験所

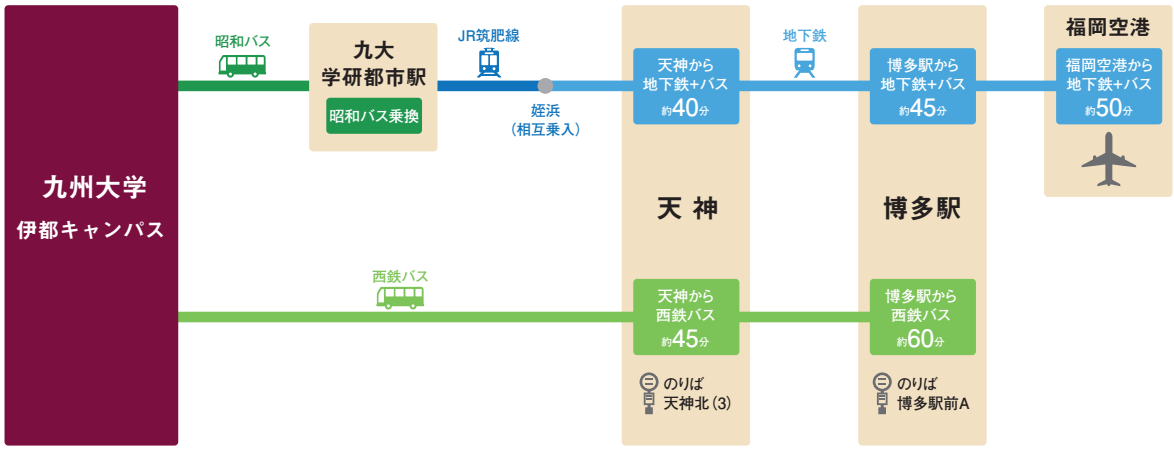
〒863-2507
熊本県天草郡苓北町富岡2231
TEL:0969-35-0003　FAX:0969-35-2413

ホームページアドレス

九州大学	https://www.kyushu-u.ac.jp/
大学院理学研究院/大学院理学府/理学部	https://www.sci.kyushu-u.ac.jp/
地震火山観測研究センター	http://www.sevo.kyushu-u.ac.jp/
天草臨海実験所	http://ambl-ku.jp/

Fukuhaku Sogo Printing Co., Ltd.

交通アクセス



福岡空港から

- 福岡空港→（地下鉄空港線）→地下鉄「姪浜駅」（JR筑肥線へ乗換）→「九大学研都市駅」下車→昭和バス「九大総合グラウンド」行に乗車→「九大理学部」下車
- 福岡空港→（地下鉄空港線）→「博多駅」→「博多駅前A」停留所から直行バス（西鉄バス「［急行］九大総合グラウンド」行に乗車）→「九大理学部」下車

JR博多駅から

- 「博多駅」（地下鉄空港線:姪浜・唐津方面行き乗車）→「九大学研都市駅」下車→昭和バス「九大総合グラウンド」行に乗車→「九大理学部」下車
- 「博多駅前A」停留所から直行バス（西鉄バス「［急行］九大総合グラウンド」行に乗車）→「九大理学部」下車

天神から

- 「天神駅」（地下鉄空港線:姪浜・唐津方面行き乗車）→「九大学研都市駅」下車→昭和バス「九大総合グラウンド」行に乗車→「九大理学部」下車
- 「天神北（3）」停留所から直行バス（西鉄バス「［急行］九大総合グラウンド」行に乗車）→「九大理学部」下車

九州大学　大学院理学研究院・大学院理学府・理学部

〒819-0395 福岡市西区元岡744　TEL 092-802-4003　FAX 092-802-4005　https://www.sci.kyushu-u.ac.jp/